

## (仮称) 堺版アーツカウンシル制度の設立について (案)

### 【背景】

- ・近年、文化芸術において幅広い分野への関連性を考慮した施策の展開及び社会的課題の解決手段としての活用が求められている。
- ・本市においては、社会的課題解決に対応する事業が十分ではなく、すべての市民層への文化芸術でのアクセスの実現が必要となる。



### 【アーツカウンシルの設立目的】

- ・広い分野（子育て、教育、福祉、産業、観光、まちづくり等）での社会的課題の解決
  - ・本市の文化芸術施策の方向性に沿った補助金等の適正執行による更なる施策の推進
- ⇒ 専門人材による領域横断的な活動を行うことで実現を図る

### 【(仮称) 堺版アーツカウンシルの体制】

- ・堺市文化芸術審議会の中に「アーツカウンシル部会」を設置
- ・文化芸術についての高度な専門性を有するPD（プログラム・ディレクター）、その活動を補佐するPO（プログラム・オフィサー）を任命
- ・事務局は文化課が担うものとし、PD・POと協力して活動を行う
- ※**PDの役割**…本市の文化芸術のマネジメント、文化団体等からの相談に対する助言、様々な主体間のコーディネート
- ※**POの役割**…PDの業務補佐、専門知識を生かしたPDへのサポート・アドバイス

### 【(仮称) 堺版アーツカウンシルの機能】

#### (1) 文化芸術活動支援

- ・文化芸術活動の推進における諸問題の解決のための相談機能
- ・関連分野との有機的な連携のためのコーディネート機能（文化団体、行政、地域との橋渡し）

#### (2) 文化芸術施策の推進

- ・推進計画の方向性を踏まえた本市の文化芸術施策の進捗状況の確認
- ・進捗状況の確認を元にした事業効果を最大化するための改善提案
- ・市内文化施設の機能向上に係る助言

#### (3) 調査研究・情報発信

- ・他市や海外の先進事例の情報収集
- ・優れた文化芸術活動に関する取組事例の紹介
- ・研究成果の発信、共有
- ・文化芸術の推進に係る講演会、シンポジウム、ワークショップ等の開催